

まくせのやしろ
万九千社
たちむしじんじや
立虫神社

社報



かむべ さと
神戸の郷

第五二号 平成二十八年春

「発行」二月吉日

よこや
代宮家 (錦田)

うららかな春の陽射しを浴びて、生命(いのち)の芽吹く季節です。その命の力、自然の営みにあやかり、神社におきましては、春のお祭りを御奉仕します。



今季の祭

三月二十七日

(日曜日)

かかんがくさい
一、勸学祭

午後一時より、神社にて齋行

祝! 小学校御入学
中学校御卒業

この春、晴れて小学校入学の歳と中学校卒業の歳を迎えた子供達が、氏神様にそろって参拝します。

神前に、入学、卒業の時を迎えたことを奉告、感謝し、これから先の心と体の健やかな成長、勉学の成就をお祈りするものです。

希望に満ちた輝く眼の子供達とそれを見守る家族のやさしい眼差しが

印象的なお祭りです。

氏神様もきつと目を細めていらつしやることでしょうね。



※御参拝の方は、十二時五十分までに拝殿へ御参集下さい。
制服、スーツなど神前で礼を失さない服装でお参り下さい。

家族のあふれる愛情を受け、育っていく子供達。

かつて、子育ては、家族だけではなく、近所の「わいおじさんや、やさしいおばさんも、お兄さんもお姉さんも、みんなが、その躰役でした。

多感な子供達と、地域の大人が何気なく声を掛け合う、挨拶を交わし

合う。でも、現代の大人が忘れそうなの
とても大事な事なのです。

少年少女をめぐる殺伐とした事件
や問題が続発する今こそ、地域あげ
て、私たちの宝、未来を担う彼ら彼女
らの健やかな歩みを見守っていきま
しょう。

きつと勸学祭には、氏子(地域)み
んなで、子供達の成長を支えていく
決意を神々に誓う意味も込められて
いるのではないのでしょうか。

どうか、この子供達の未来が、心豊
かな日々でありますように…。



一、祈年祭

きねんさい (としごひのまつり)

午後三時より神社にて齋行

春祭りの中心となる祭典です。

宮司以下の神職が、古式にのっと
った装束を身に付けて、厳かに御奉
仕します。御神前に山のようにたく
さんのお供え物をして氏神様をおも
てなしし、宮司が祝詞を奏上します。

祝詞では、今年一年が良い年であ
りますようにと、稲をはじめとする
五穀の豊穰とその豊かな稔りに支え
られた工業、商業など諸産業の繁栄、
人々の幸と平安を感謝しつつ御祈念
します。

当日は、氏子を代表して、総代の
皆様に昇殿してもらい、まごころ込
めて玉串拝礼していただきます。

※氏子さ

んの各家に、
春祭りのお
札と御洗米
を授与しま
す。当番の
方は、午前
九時から午



後二時までに参りのついでにお供え下さ
い。よろしくお願いいたします

【一〇報告】

代宮家の長男、錦田寛史(平成八
年生まれ、大学一年)が、去る平成
二十七年十二月一日付、神社本庁よ
り、立虫神社社禰宜(ねぎ)の職を
拝命致しました。

昨年の夏休み、一ヶ月間、東京の
國學院大學にて神職養成講習会を修
了し、神職資格「直階」を取得しま
した。

現在は、春休みの一ヶ月間を利用
し、同大學神職養成講習会にて神職
資格「権正階」の研修を受講中です。

来る立虫神社祈年祭からは禰宜と
して正式に神職として奉仕させてま
いります。

浅学非才の身ですが、氏子の皆様
に今後ともよろしくご指導賜ります
よう、謹んでご報告かたがたお願い
まで申し上げます。

(文責 宮司)

